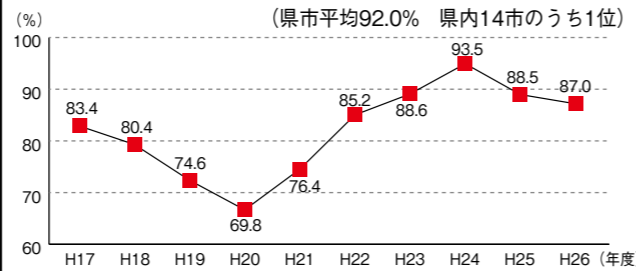


財政指標

自治体の財政状況を分析するための、さまざまな指数を総称して「財政指標」と呼んでいます。財政指標を見ると、亀山市が財政的に健全なのか、そうでないのかが分かります。指標に加えて、市債や基金の残高をグラフで表し分析しました。

経常収支比率 87.0%

「経常的に収入された一般財源」が「経常的経費」にどのくらい充当されているか、その割合を示したもので、財政構造の弾力性を示す指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示しています。一般的には75%程度が妥当と考えられ、80%を超えると弾力性を失いつつあるとされています。

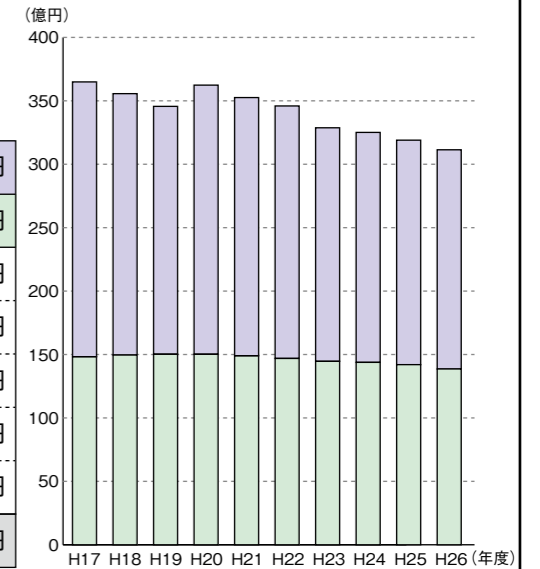


地方債残高 約314億円

市債は公共施設の建設など、一時的にたくさんのお金が必要な場合の借金で、将来、返済しなければなりません。

これまでに借り入れた市債の残高は約314億円となりました。平成26年度には、新たに約25億円を借り入れていますが、将来の財政負担を考慮し、交付税算入があるものなど、有利な市債のみの借り入れにとどめた結果、市債残高は6年連続で減少しています。

一般会計	173億7,491万円
特別会計等	140億1,193万円
農業集落排水事業	33億1,383万円
公共下水道事業	79億4,910万円
水道事業	21億2,860万円
工業用水道事業	2億9,290万円
病院事業	3億2,750万円
合計	313億8,684万円

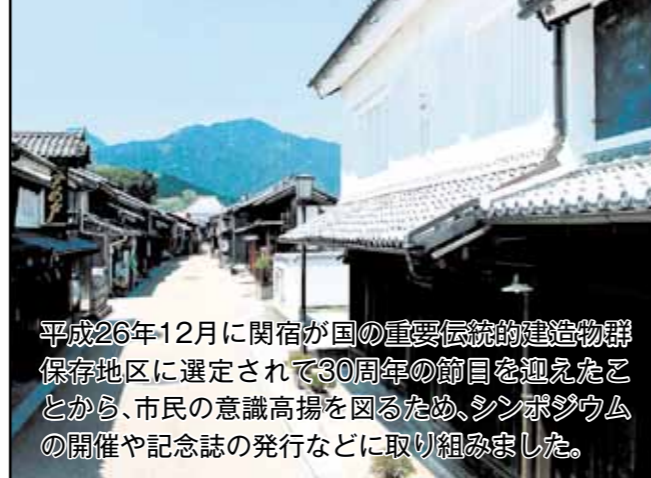


地域包括支援事業 3,714万円



高齢者が安心して暮らせるよう、地域包括支援センター等を通じて、高齢者のニーズや状態に応じた地域包括ケアを行いました。

関宿重伝建選定30周年記念事業 751万円



平成26年12月に関宿が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されて30周年の節目を迎えたことから、市民の意識高揚を図るため、シンポジウムの開催や記念誌の発行などに取り組みました。

ごみ溶融処理施設長寿命化事業 3億3,701万円



ごみ溶融処理施設の延命化と二酸化炭素排出量削減を目的として、平成24年度から基幹的設備改良工事を実施し、平成26年度をもって全工事を完了しました。

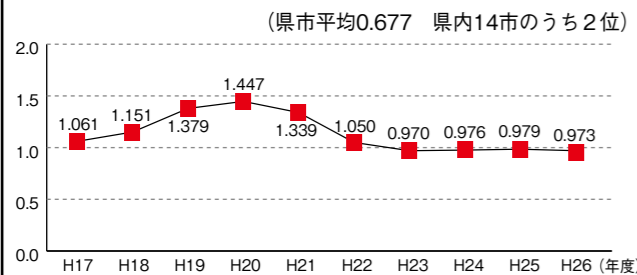
地区コミュニティセンター充実事業 9,129万円



市内産木材の利用を図り、神辺地区コミュニティセンターの整備工事を実施しました。また、関南部地区コミュニティセンターの建設については、用地の確保および設計業務を行いました。

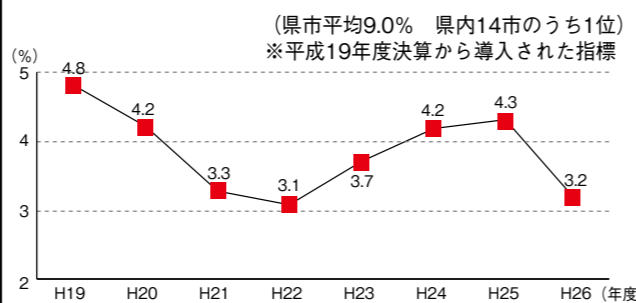
財政力指数 0.973

地方公共団体の財政力を示すもので、一般財源の必要額に対し、市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを表しています。指数が「1」に近い団体ほど財源に余裕があり、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となり、標準的な水準以上の行政を行うことができます。



実質公債費比率 3.2%

一般会計等の支出のうち、義務的に支出しなければならない経費である公債費などを、一般財源の標準的な規模を表す標準財政規模を基本とした額で除したものです。



基金残高 約102億円

法律や条令に基づいて設置される基金は、特定の目的のために活用することができます。

亀山市には平成26年度末で16の基金があり、残高は約102億円となりました。年度間の財源の不均衡を調整するための基金である財政調整基金については、市税の減収などにより繰り入れを行ったため、平成26年度で24万円減少しました。

財政調整基金	44億5,163万円
減債基金	4億3,163万円
国民健康保険給付費等支払準備基金	65万円
リニア中央新幹線亀山駅整備基金	15億90万円
下水道事業基金	2億8,458万円
農業集落排水事業債償還基金	1億7,503万円
地域福祉基金	2,784万円
公共施設等基金	3,789万円
ふるさと・水と土保基金	1,834万円
ボランティア基金	905万円
伝統的建造物群保存基金	668万円
庁舎建設基金	9億5,000万円
市民まちづくり基金	9億9,604万円
関宿にぎわいづくり基金	3億6,860万円
土地開発基金	8億9,072万円
みえ森と緑の県民税市町交付金基金	240万円
計	101億5,198万円

